

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A		
番号・取組事業名	32001	ファシリティマネジメント(公共施設等総合管理計画の策定)		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31
担当部署	030300	総務部 資産管理課		責任者	鬼澤 徹雄		担当者	資産管理担当
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	<p>公共施設等の老朽化対策の推進により、「財政負担の軽減・平準化」及び「公共施設の最適な配置」を実現するため、その基本方針となる公共施設等総合管理計画を策定する。</p> <p>なお、柏市が策定する公共施設等総合管理計画は、公共施設等の現況及び今後の見通しを明らかにした「施設白書編」と、公共施設等の再配置、維持、保全及び更新など管理に関する基本的な考え方をまとめた「基本方針編」で構成する。平成27年度に「施設白書編」を、平成28年度に「基本方針編」を策定する。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	遅れている	先進都市の事例研究や自治体間の意見交換及び研究部会などに参加して情報収集						
平成24年度	計画どおり	遅れていたシステム導入も決定し、緊急雇用創出事業を活用し、システム導入及びデータ入力の準備が整った。						
平成25年度	遅れている	基本データの入力、工事履歴の入力。						
平成26年度	その他	基本データの追加入力及び建築物の更新費用の試算を行った。						
平成27年度	計画どおり	公共施設等総合管理計画「施設白書編」を策定した。						
成果指標	指標名	公共施設等総合管理計画「施設白書編」策定の進捗状況				単位	%	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	-	-	-	-	100	100	
	実績値	-	-	-	-	100	100	
効果額	歳入増加	計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	計画額						0
		実績額						0
	計	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)							公共施設の有効活用と老朽化対策を進めるに当たっての基礎資料として活用する。	

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A		
番号・取組事業名	32001	ファシリティマネジメント(公共施設等総合管理計画の策定)	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31		
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	鬼澤 徹雄	担当者	資産管理担当		
		区分	取組内容・目標					
平成27年度	計画どおり	公共施設等総合管理計画「施設白書編」を策定した。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	基本方針の検討			○	○	○		
2	施設白書作成に向けた情報収集・分析			○	○	○		
3	公共施設等総合管理計画「施設白書編」素案の策定					○	○	
4	公共施設等総合管理計画「施設白書編」の策定						○	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>・7月末に柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」策定支援業務委託契約を締結し、施設白書作成作業を進めている。9月初から、公共施設(市有建築物)に係る実態調査を実施している。</p> <p>・平成26年10月から第8期行政改革推進委員会において公共施設等の老朽化対策に係る審議が進められている。現状説明を行い、今後の取組みの基本方針に関する意見を聴取している。</p>				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	公共施設等総合管理計画「施設白書編」策定の進捗状況		計画値	単位	100	%	100
	達成状況【成果】	達成	コメント	<p>市では、市有建築物やインフラ施設等の中長期的な管理の基本方針をとりまとめ、平成28年度に公共施設等総合管理計画を策定する予定である。</p> <p>平成27年度は、現状と課題を明らかにするため、「施設白書編」の作成を進めた。当初予定したスケジュールどおりには進まなかったが、各施設の建築年数や利用状況、収支状況等のデータを一元化することができた。平成27年度内にとりまとめ、平成28年度に公表する予定である。</p>				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント				
計画値								
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	<p>実行性を担保するため、出来るだけ具体的な取り組みを位置づけること。</p>				
	方向性	取組み強化						

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32002	勤労会館施設管理運営事業		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31	
担当部署	090700	経済産業部 商工振興課		責任者	小島 利夫		担当者	産業政策・労政担当	
取組年度	H23	～	H27						
効果	歳出削減								
最終目標	勤労会館施設管理運営事業費を一般財源ベースで対平成23年度当初予算比20%を削減する。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成23年度	進んでいる	利用促進を図るとともに、勤労会館のあり方をまとめた。							
平成24年度	計画どおり	開館時間の見直しを行い、維持管理経費の削減に努めた。							
平成25年度	計画どおり	貸し館業務の廃止を含めた勤労会館のあり方を見直した。							
平成26年度	進んでいる	勤労会館のあり方の見直しを行い、H27. 5月末をもって閉館することとした。							
平成27年度	計画どおり	平成27年5月末をもって閉館した。							
成果指標	指標名	翌年度の勤労会館施設管理運営事業費				単位	千円		
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値		
	計画値	6,062	6,062	5,153	4,850	4,850	4,850		
	実績値	6,075	5,399	4,468	3,451	809	809		
効果額	歳入増加	計画額					0		
		実績額					0		
	歳出削減	計画額	0	303	909	1,212	1,212	3,636	
		実績額	△ 13	663	1,594	1,344	809	4,397	
	計	計画額	0	303	909	1,212	1,212	3,636	
		実績額	△ 13	663	1,594	1,344	809	4,397	
見込まれる その他効果 (金額以外)									

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32002 勤労会館施設管理運営事業	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31		
担当部署	090700 経済産業部 商工振興課	責任者	小島 利夫	担当者	産業政策・労政担当		
	区分	取組内容・目標					
平成27年度	計画どおり	平成27年5月末をもって閉館した。					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	勤労会館改修工事			○	○	○	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	完了 (事業終了)	コメント	平成27年5月31日をもって事業終了		
進捗・実績							
		成果指標名	翌年度の勤労会館施設管理運営事業費	計画値	単位 千円 4,850	実績値 単位 千円 809	
	年度末	達成状況【成果】	達成	コメント	平成27年5月31日をもって事業を終了した。		
		進捗状況【活動】	計画どおり				
		計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント		
			計画値				
評価	評価者	平島 雅治	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	予定通り平成27年5月31日勤労会館としての業務は終了。今後は、就労支援の拠点として、有効活用していく。			
	方向性	完了 (目的達成)					

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32003	市営住宅の老朽化対策		作成日	H27.4.1			
担当部署	140400	都市部 住宅課		責任者	小笠原 勝			
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	市営住宅の耐久性の向上及び機能の向上を図る改善を実施することにより建物の長寿命化を図る。 特に経年劣化の激しい外壁、屋上防水部材に関しては、グレードアップ等による耐久性を向上させることにより修繕周期の延長によるライフサイクルコストの縮減を図る。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	計画どおり	市営逆井団地14号棟外壁塗装, 防水改修工事, その他工事						
平成24年度	計画どおり	北柏D棟について外壁塗装工事, 屋上防水改修工事, その他工事を実施し, 建物の長寿命化を図った。						
平成25年度	計画どおり	北柏C棟について外壁塗装工事, 屋上防水改修工事, その他工事を実施し, 建物の長寿命化を図った。						
平成26年度	計画どおり	市営住宅塚崎団地1・2号棟外壁塗装及び屋根改修工事を実施し, 建物の長寿命化を図った。						
平成27年度	計画どおり	市営住宅塚崎団地3・4号棟外壁塗装及び屋根改修工事を実施し, 建物の長寿命化を図った。						
成果指標	指標名	老朽化対策工事実施棟数				単位	棟	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	1	1	1	2	2	7	
	実績値	1	1	1	2	2	7	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額	1,400	3,300	5,700	4,400	4,000	18,800
		実績額	1,400	3,300	5,700	4,400	4,000	18,800
	計	計画額	1,400	3,300	5,700	4,400	4,000	18,800
		実績額	1,400	3,300	5,700	4,400	4,000	18,800
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32003	市営住宅の老朽化対策	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	140400	都市部 住宅課	責任者	小笠原 勝	担当者	市営住宅担当	
	区分	取組内容・目標					
平成27年度	計画どおり	市営住宅塚崎団地3・4号棟外壁塗装及び屋根改修工事を実施し、建物の長寿命化を図った。					
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	外壁塗装及び屋根改修工事等に関する設計図書作成		○	○			
2	外壁塗装及び屋根改修工事等の実施				○	○	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	施工業者が決定し、外壁塗装及び屋根改修工事施工中。		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	老朽化対策工事实施棟数	計画値	単位 棟 2	実績値	単位 棟 2
		達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住宅計画に基づき、市営住宅塚崎団地3・4号棟の外壁塗装及び屋根の改修工事を実施した。 ・財源として、社会資本整備総合交付金21,880千円の交付を受け事業を実施した。 		
		進捗状況【活動】	計画どおり				
		計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント		
	計画値						
評価	評価者	多田 俊哉	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	引き続き、計画に基づいて外壁・防水等の改修工事を進められたい。然しながら、建築後40年以上を経過した住棟がありまた住戸様式が今風のニーズと乖離していることから、建築年の古い住棟について「公共施設等総合管理計画」のなかで、統廃合を含めた今後の施設維持・管理について方向性を検討されたい。			
	方向性	継続実施					

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目		32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B
番号・取組事業名	32004	道路アセットマネジメント導入検討	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	121100	土木部 道路維持補修室	責任者	酒井勉	担当者	維持補修担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	歳出削減						
最終目標	平成19年度から平成23年度に橋梁データの収集を行い、平成24年度には、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。橋梁長寿命化修繕計画策定により、対症療法的な修繕から予防保全的な修繕を実施し、損傷顕在化の前に対策を講じ、事後的な修繕や架替えに比較して維持管理コストの縮減及び予算の平準化を図る。平成25年度からは、修繕対策の優先順位付けに基づき修繕工事を行うが、併せて国庫補助を受け市の財政支出の抑制を図る。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	橋梁超寿命化修繕計画の策定に向けての橋梁データ整備を実施する。					
平成24年度	計画どおり	橋梁長寿命化修繕計画の策定					
平成25年度	遅れている	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、修繕工事の実施					
平成26年度	遅れている	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、点検・補修設計・修繕工事の実施					
平成27年度	計画どおり	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
成果指標	指標名	橋梁データ収集・維持補修				単位	橋
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	38	176	6	10	63	293
	実績値	38	176	0	8	66	288
効果額	歳入増加	計画額	0				0
		実績額	0				0
	歳出削減	計画額	0				0
		実績額	0				0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	橋梁データ収集	H23までの橋梁データを基に、全橋梁176橋の策定計画を実施	・予防保全型の対策による橋梁の延命化 ・不測の事故や苦情等の減少				

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32004	道路アセットマネジメント導入検討	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31		
担当部署	121100	土木部 道路維持補修室	責任者	酒井勉	担当者	維持補修担当		
		区分	取組内容・目標					
平成27年度	計画どおり	橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望						
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	常磐自動車道横断橋6橋補修工事(八両野橋他5橋・下り線)		○	○	○	○		
2	JR跨線橋3橋線路外部工事(第三浜街道跨線道路橋他2橋)		○	○	○	○		
3	JR跨線橋6橋線路直上部実施設計(第一流山街道跨線道路橋他5橋)		○	○	○			
4	JR跨線橋6橋線路直上部点検(光ヶ丘跨線人道橋他8橋)		○	○	○	○		
5	東武跨線橋2橋線路直上・線路外部点検・実施設計(第二流山街道跨線人道橋他1橋)		○	○	○	○		
6	新曙橋他6橋点検・補修設計		○	○	○			
7	水道橋補修工事			○	○	○		
8	水道橋他32橋点検		○	○	○	○		
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	遅れている	コメント	国庫補助金交付額の減額により、橋梁を選定した結果、一部橋梁の工事等を次年度以降に行なうことで進めている。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	橋梁データ収集・維持補修	計画値	単位	橋	実績値	単位	橋
				63		66		
	達成状況【成果】	達成	コメント	国庫補助金交付額の減額により、橋梁を選定した結果、一部橋梁の点検、工事等を完了することができなかったが、常磐自動車道横断橋について、事業費の縮減として工事と同時に点検を実施したことから、概ね計画通りの橋梁数を完了することができた。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
	計画値							
評価	評価者	君島 昭一	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	橋梁の長寿命化及び予防保全型の維持補修については、計画的且つ長期的に行っていくことが、結果的にコストの縮減に繋がる。				
	方向性	継続実施						

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32006	施設の節電・省エネルギー化		作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館		責任者	海老原 謙一	担当者	枝川 旬	
取組年度	H24	～	H27					
効果	その他改善		歳出削減					
最終目標	中央公民館がある教育福祉会館は、昭和56年の新耐震基準以前に設計されている。この耐震性の問題に加えて建築後35年を経過しており、経年による老朽化が著しく進行しているため、総合計画の後期基本計画の中で、耐震改修とリニューアル工事を実施することとしている。市民の安全性や利便性、延命化を図るために行う耐震改修とリニューアル工事に併せて、照明設備のLED化など節電・省エネルギータイプのものに更新することにより、管理経費を削減する。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度								
平成24年度	計画どおり	美術サロンの一部をLED電球に切り替えや修繕経費の予算化、利用者へ、節電への取り組みについて啓発等を行った。						
平成25年度	計画どおり	不要な照明の節電や利用者への節電の協力について啓発を行った。老朽化した照明設備等の改修修繕の際は、節電・省エネルギータイプのものへの更新の検討を行った。						
平成26年度	計画どおり	利用者への節電についての周知を図るとともに、美術サロンのスポットライト40灯と3階ホール天井照明12灯をLEDランプに交換するなど節電・省エネルギータイプへの交換修繕を行った。						
平成27年度	計画どおり	耐震改修工事に併せて、施設の共有部分の照明設備等を節電・省エネルギータイプのものに更新する改修工事準備を行った。						
成果指標	指標名	電気使用量				単位	kwh	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値		397,600	397,600	397,600	397,600	397,600	
	実績値		290,536	315,676	318,565	327,667	327,667	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額		1,072	553	△ 613	△ 613	399
		実績額		553	△ 601	△ 1,240	△ 658	△ 1,946
	計	計画額	0	1,072	553	△ 613	△ 613	399
		実績額	0	553	△ 601	△ 1,240	△ 658	△ 1,946
見込まれる その他効果 (金額以外)			光熱水費の電気料の経費が軽減される。利用者の節電意識の醸成。	光熱水費の電気料の経費が軽減される。利用者の節電意識の醸成。	光熱水費の電気料の経費が軽減される。利用者の節電意識の醸成。	照明等の設備に係るランニングコストや器具の交換寿命が延びることで経費節減が期待できる。		

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32006	施設の節電・省エネルギー化	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	281100	生涯学習部中央公民館	責任者	海老原 謙一	担当者	枝川 旬			
	区分	取組内容・目標							
平成27年度	計画どおり	耐震改修工事に併せて、施設の共有部分の照明設備等を節電・省エネルギータイプのものに更新する改修工事準備を行った。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	利用者へ節電についての協力の啓発			○	○	○	○		
2	会館内の修繕を必要とする照明器具の現況把握, 更新, 改修計画協議等の対応			○	○	○	○		
3	修繕経費の見積り作成, 予算化				○				
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	館内全ての照明設備の省エネタイプへの更新は、耐震補強及び大規模改修工事計画に組み込むことを営繕管理室と協議済み。施設・設備の老朽化が進んでいることから、必要な修繕はその都度対応している。 利用者への節電の周知を図るとともに、修繕も費用対効果を考慮した対応に心がけている。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	電気使用量	計画値	単位	kwh	実績値	単位	kwh
					397,600			327,667	
		達成状況【成果】	達成	コメント	電気使用量は、平成22年度の約8割に抑えられているが増加傾向にある。 館内の電気設備・照明器具等の修繕時には、講堂天井照明の老朽化した照明器具のLED化を行うなど節電・省エネタイプへの交換に努めた。 平成28年度からの耐震改修工事実施設計業務委託とその後の改修工事に向け、費用対効果に配慮した修繕に努めたい。				
		進捗状況【活動】	計画どおり						
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
		計画値							
評価	評価者	篠原 忠良	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	・引き続き, 省エネルギー化に努めて下さい。					
	方向性	継続実施							

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A	
番号・取組事業名	32007	公共施設の計画的な維持補修への対応	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	030800	総務部資産管理課営繕管理室	責任者	鬼澤 徹雄	担当者	営繕担当,建築保全担当	
取組年度	H26	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	公共建築物を安全で快適に利用できる状態を維持するとともに、将来的な保全工事費の把握と施設の長寿命化を図る等財政負担の平準化を目的として、建築物の用途・規模等から予防保全とすべき対象施設と部位を選定し、「中長期保全計画」を策定した上で計画的に保全工事を実施していく。なお「中長期保全計画」の策定にあたっては、「公共施設等総合管理計画」の基本方針案に沿って行なっていく。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度							
平成24年度							
平成25年度							
平成26年度	遅れている	「中長期保全計画(案)」の策定, 予防保全工事の実施					
平成27年度	計画どおり	「中長期保全計画」の策定, 保全情報システムの構築, 予防保全工事の実施					
成果指標	指標名	予防保全工事の実施件数				単位	件
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値				5	7	12
	実績値				5	7	12
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)				計画的な予防保全工事の実施により, 突発的な施設の使用障害や事故を避ける。	計画的な予防保全工事の実施により, 突発的な施設の使用障害や事故を避ける。		

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	A	
番号・取組事業名	32007	公共施設の計画的な維持補修への対応	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	030800	総務部資産管理課営繕管理室	責任者	鬼澤 徹雄	担当者	営繕担当, 建築保全担当	
		区分	取組内容・目標				
平成27年度	計画どおり	「中長期保全計画」の策定, 保全情報システムの構築, 予防保全工事の実施					
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	「中長期保全計画」の策定		○	○	○	○	
2	保全情報システムの構築		○	○	○	○	
3	予防保全工事の設計		○	○	○	○	
4	予防保全工事の実施		○	○	○	○	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期保全計画の策定は計画どおり進行中。 ・保全情報システムの構築は計画どおり進行中。 ・予防保全工事の設計及び工事は計画どおり進行中。 		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	予防保全工事の実施件数	計画値	単位 件	実績値 単位 件	
					7	7	
		達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・予防工事の設計及び工事は計画どおり完了し成果指標を達成。 ・保全情報システムの構築は計画どおり完了。 ・中長期保全計画の策定にあたっては, 平成28年度に策定される公共施設等総合管理計画基本方針に沿って行っていく。 		
		進捗状況【活動】	計画どおり				
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント			
		計画値					
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	財政課と調整しながら, 予算編成と連動した実施への取り組みを行うこと			
	方向性	継続実施					

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B				
番号・取組事業名	32008	道路改良事業		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31		
担当部署	121100	土木部 道路維持補修室		責任者	酒井勉		担当者	維持補修担当		
取組年度	H26	～	H27							
効果	その他改善									
最終目標	平成25年度に幹線道路を主体とした路面性状調査を実施して、道路舗装管理計画を策定。この計画に基づき、舗装表面だけの補修から既存の舗装構成を考慮した補修を実施し、舗装の寿命の延命及び維持管理コストの縮減を図る。管理計画の優先順位付けに基づき補修工事を行うが、併せて国庫補助を受け、市の財政支出の抑制を図る。									
年度	区分	取組内容・目標								
平成23年度										
平成24年度										
平成25年度		道路舗装管理計画の策定								
平成26年度	遅れている	道路管理計画に基づいて、事業予算の確保、次年度の補助金要望								
平成27年度	遅れている	道路管理計画に基づいて、補修工事の実施、事業予算の確保、次年度の補助金要望								
成果指標	指標名	道路改良延長				単位		m		
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値			
	計画値				2,450	2,040	4,490			
	実績値				2,238	2,277	4,515			
効果額	歳入増加	計画額			道路舗装管理計画は、既存の舗装構成を考慮した補修を行うことにより、舗装の寿命年数を延ばし、舗装の打ち換えの回数を削減させることを目的に行っていくものです。そのため、舗装の延命を図って行きますので、単年度における歳出削減効果を算出することは出来ません。			0		
		実績額						0		
	歳出削減	計画額						0		
		実績額						0		
	計	計画額	0	0				0	0	0
		実績額	0	0				0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)										

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B	
番号・取組事業名	32008	道路改良事業	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	121100	土木部 道路維持補修室	責任者	酒井勉	担当者	維持補修担当	
	区分	取組内容・目標					
平成27年度	遅れている	道路管理計画に基づいて、補修工事の実施、事業予算の確保、次年度の補助金要望					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	市道01107号線 外8路線の測量設計			○	○	○	
2	市道01107号線 外8路線補修工事				○	○	○
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	遅れている	コメント	国庫補助金交付額の減額により、路線を選定した結果、一部路線の工事を次年度以降に行なうことで進めている。		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	道路改良延長	計画値	単位 m 2,040	実績値	単位 m 2,277
		達成状況【成果】	達成	コメント	国庫補助金交付額が減額されたが、路線を選定して、目標とする計画値を上回った。		
		進捗状況【活動】	遅れている				
		計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント		
	計画値						
評価	評価者	君島 昭一	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	道路の維持補修において事後対応型から予防保全型に変えることは長期の継続性が必要不可欠である。			
	方向性	継続実施					

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32009	街路灯のLED化		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31
担当部署	121100	土木部 道路維持補修室		責任者	酒井勉		担当者	施設担当
取組年度	H26	～	H27					
効果	歳出削減							
最終目標	市内の街路灯をLED化することにより地球温暖化に係る温室効果ガスの削減及び電力量の節減を図る。 平成26年度に約4,200基の街路灯のLED化を図る。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度								
平成24年度								
平成25年度								
平成26年度	計画どおり	街路灯のLED化の実施						
平成27年度	計画どおり	事業者による街路灯LED化事業賃貸借契約に基づく点検等						
成果指標	指標名	街路灯のLED化				単位	基	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値				4,200	4,552	4,552	
	実績値				4,552	4,552	4,552	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額					0	
		実績額					0	
	計	計画額	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32009	街路灯のLED化	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31		
担当部署	121100	土木部 道路維持補修室	責任者	酒井勉	担当者	施設担当		
		区分	取組内容・目標					
平成27年度	計画どおり	事業者による街路灯LED化事業賃貸借契約に基づく点検等						
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	賃貸借契約によるLED化工事		○	○				
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	街路灯をLED照明に交換する工事が完了。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	街路灯のLED化	計画値	単位	基	実績値	単位	基
				4,552		4,552		
	達成状況【成果】	達成	コメント	スケジュールどおり街路灯をLED照明に交換する工事を完了させた。				
	進捗状況【活動】	計画どおり						
計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
	計画値							
評価	評価者	君島 昭一	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	市内の街路灯はほぼ全てがLED化され、新設の街路灯についてもLED照明となる。 この事業により、1ヶ月当たりの使用電気料金が約60%も削減されているので、効果が現れている。				
	方向性	完了(目的達成)						

H27

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B		
番号・取組事業名	32010	公園照明灯のLED化		作成日	H27.4.1		更新日	H28.3.31
担当部署	140900	都市部 公園管理課		責任者	水谷靖弘		担当者	管理・事業担当
取組年度	H27	～	H27					
効果	歳出削減							
最終目標	市内の公園街路灯をLED化することにより、地球温暖化に係る温室効果ガスの削減及び電気量の削減を図る。平成28年度以降には、約1,300基の公園街路灯のLED化を図る。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度								
平成24年度								
平成25年度								
平成26年度								
平成27年度	計画どおり	約1,300基の公園街路灯のLED化実施に向けた既存照明灯の調査及び事業計画の立案が完了した。						
成果指標	指標名	公園照明灯のLED化				単位	基	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値					1,321	1,321	
	実績値					1,203	1,203	
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額					0	
	歳出削減	計画額					0	
		実績額					0	
	計	計画額	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H27

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	32 公共施設の有効活用と老朽化対策				重要度	B			
番号・取組事業名	32010	公園照明灯のLED化	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	140900	都市部 公園管理課	責任者	水谷靖弘	担当者	管理・事業担当			
	区分	取組内容・目標							
平成27年度	計画どおり	約1,300基の公園街路灯のLED化実施に向けた既存照明灯の調査及び事業計画の立案が完了した。							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	事前調査			○	○				
2	仕様書・技術仕様書の作成				○	○			
3	来年度工事発注準備					○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	来年度にLED化事業を実施するために必要となる現地調査と並行して発注形態、事業費の検証を行っている。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	公園照明灯のLED化	計画値	単位	基	実績値	単位	基
					1,321			1,203	
		達成状況【成果】	達成	コメント	当初計画のとおり現地調査及び調査結果に基づく事業費算出並びにLED化事業発注のための基本仕様書まで完了した。 なお、既にLEDまたは太陽光による省エネ化が完了している等により118基は対象外としたため、実績値は計画値に達していないが、対象とした照明灯については全て対応済みである。				
		進捗状況【活動】	計画どおり						
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
		計画値							
評価	評価者	南條 洋介	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	・引き続きLED化の目標達成を期待します。					
	方向性	完了(目的達成)							